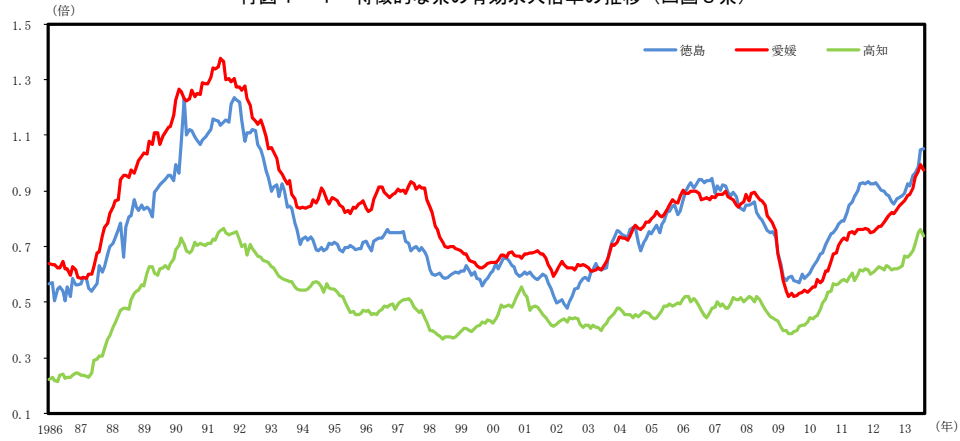


付図・付表・付注

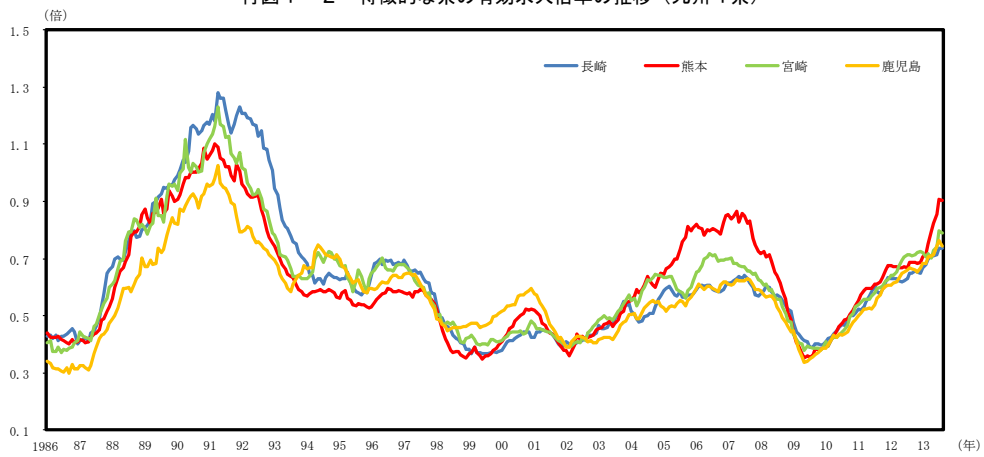
付図 1 四国、九州、東北でいわゆる「バブル」以降の有効求人倍率の推移

付図 1-1 特徴的な県の有効求人倍率の推移（四国 3 県）



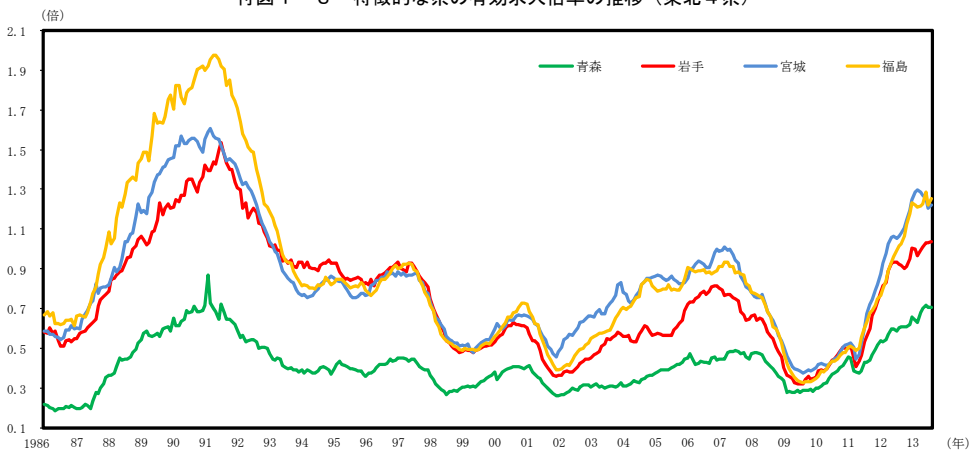
(備考) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。季節調整値。

付図 1-2 特徴的な県の有効求人倍率の推移（九州 4 県）



(備考) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。季節調整値。

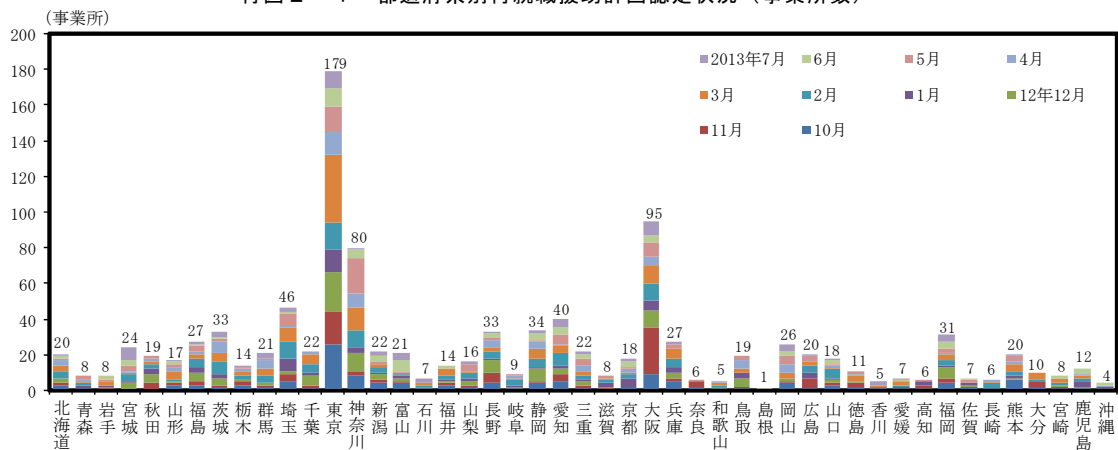
付図 1-3 特徴的な県の有効求人倍率の推移（東北 4 県）



(備考) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。季節調整値。

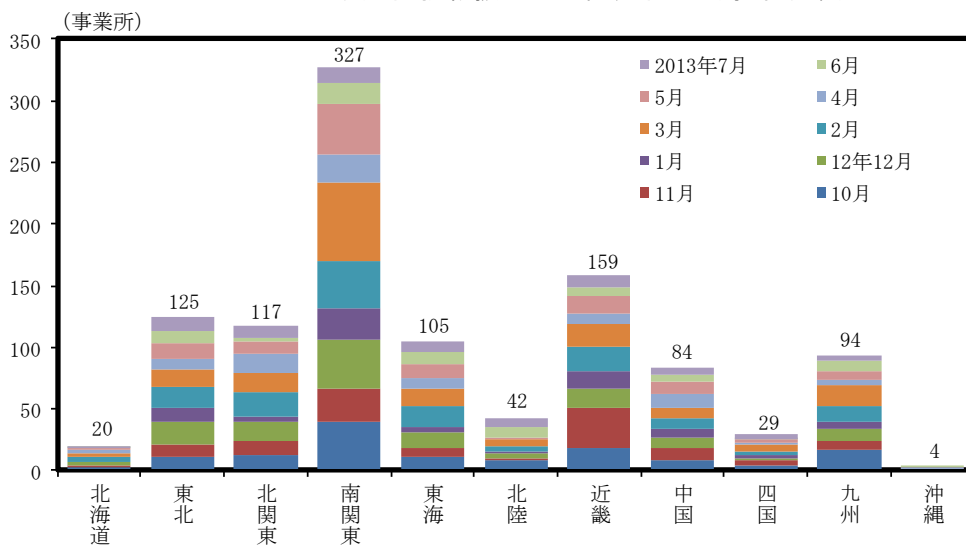
付図2 都道府県別にみた再就職援助計画認定状況

付図2-1 都道府県別再就職援助計画認定状況（事業所数）



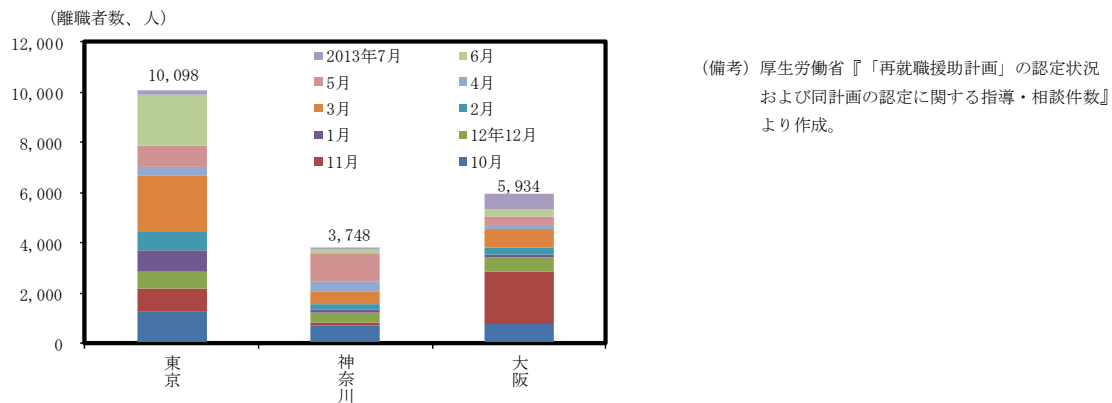
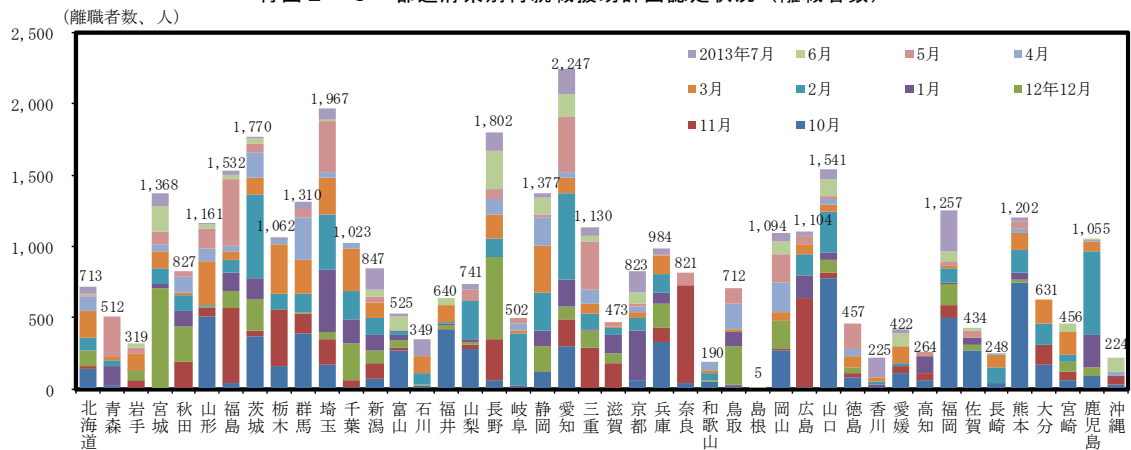
(備考) 厚生労働省『「再就職援助計画」の認定状況および同計画の認定に関する指導・相談件数』より作成。

付図2-2 地域別再就職援助計画認定状況（事業所数）

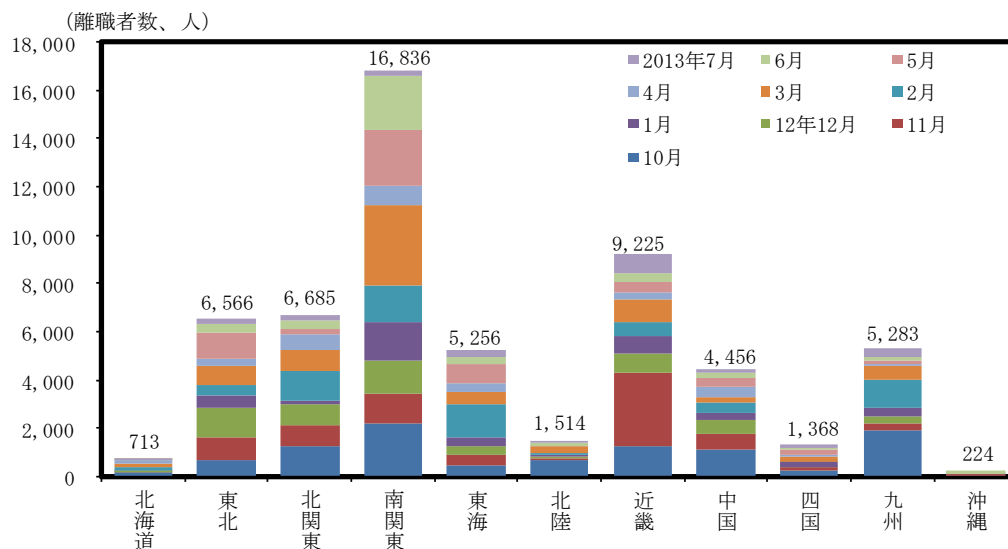


(備考) 1. 厚生労働省『「再就職援助計画」の認定状況および同計画の認定に関する指導・相談件数』より作成。
2. 地域区分はA。

付図 2-3 都道府県別再就職援助計画認定状況（離職者数）



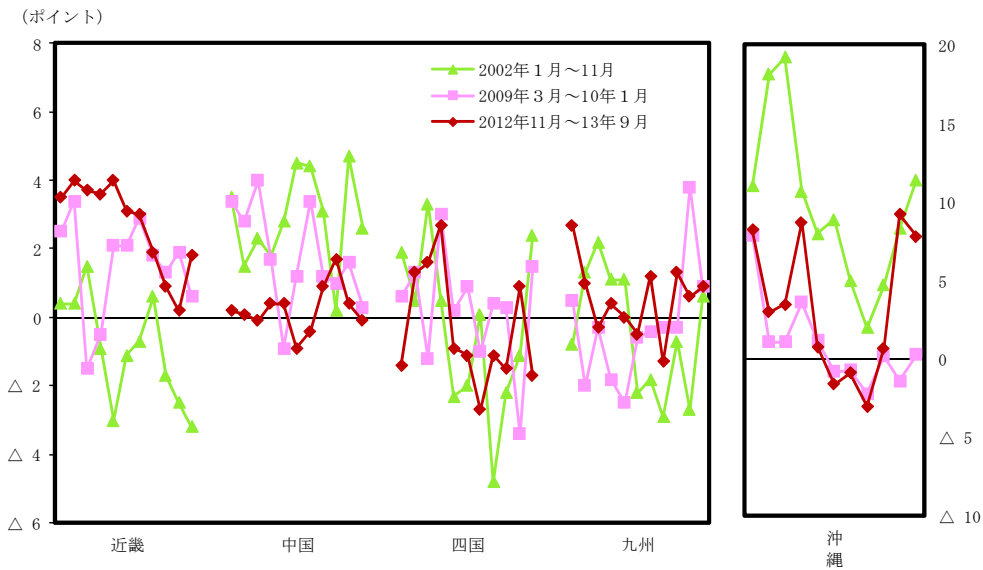
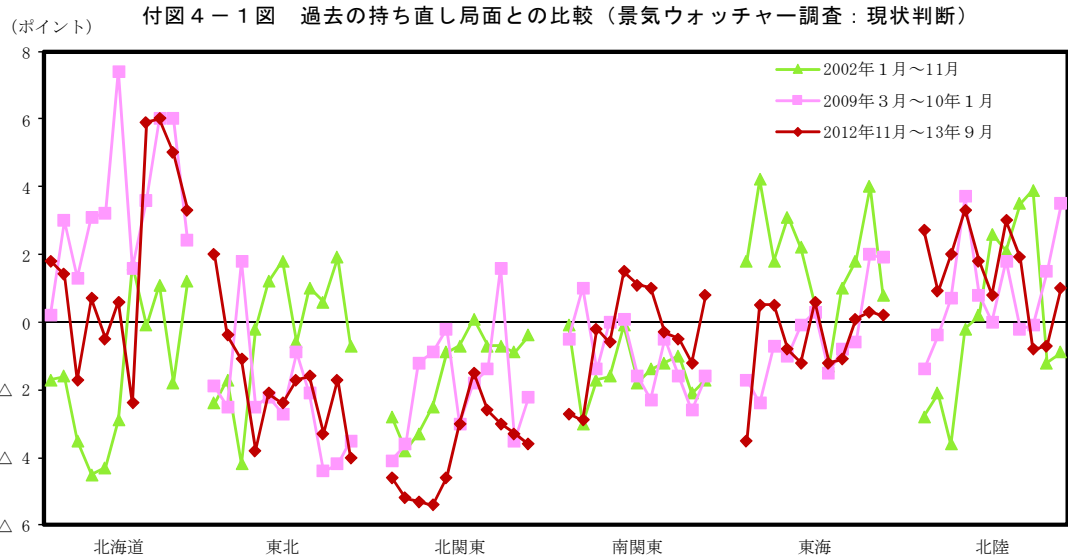
付図 2-4 地域別再就職援助計画認定状況（離職者数）



(備考) 1. 厚生労働省『「再就職援助計画」の認定状況および同計画の認定に関する指導・相談件数』より作成。
2. 地域区分はA。

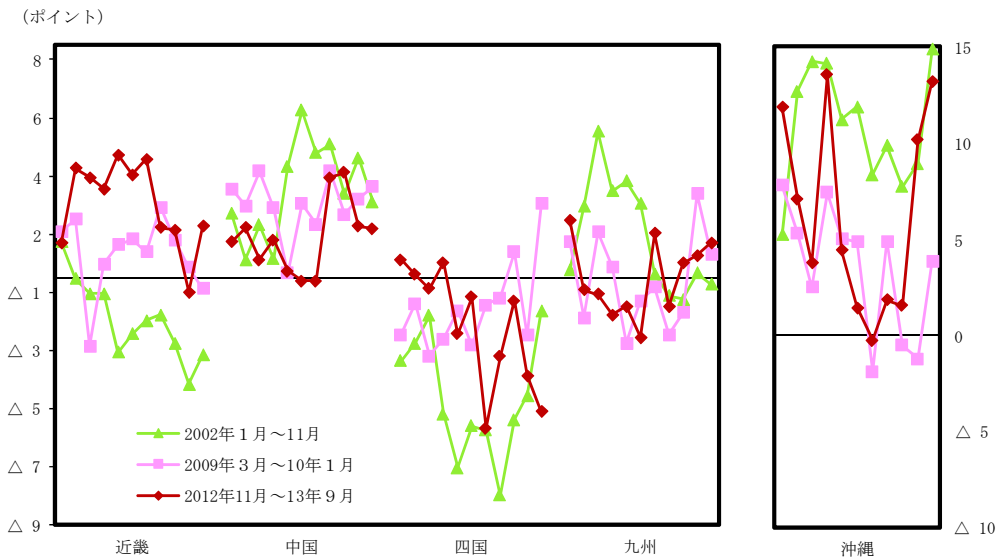
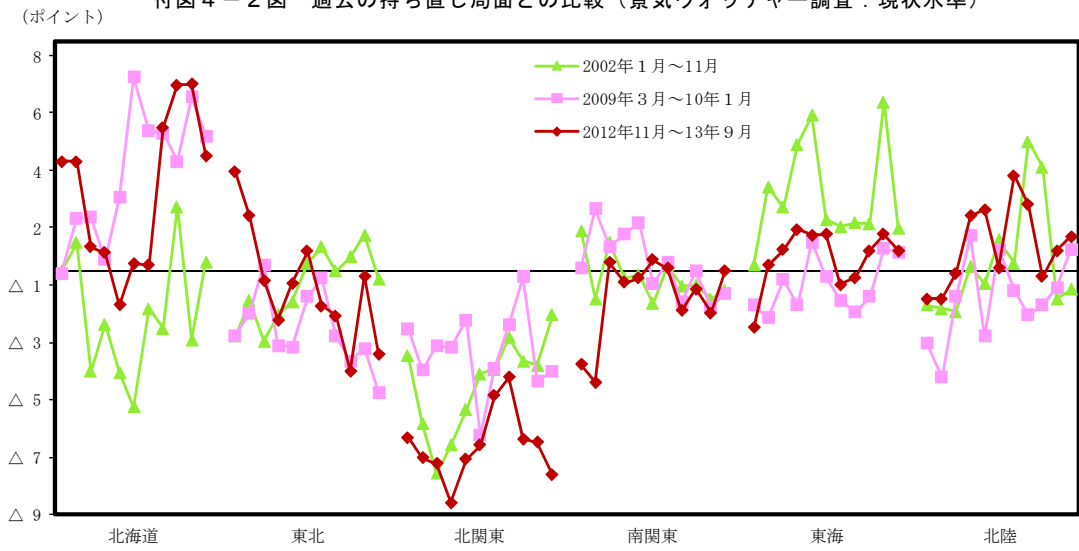
付図4 地域別、業種別にみた景気ウォッチャー調査DIの全国とのかい離

2012年11月から始まる今回の景気持ち直し局面の特徴を考察するため、景気ウォッチャー調査を地域別、業種別に分析した。本文以外の図表は以下のとおり。



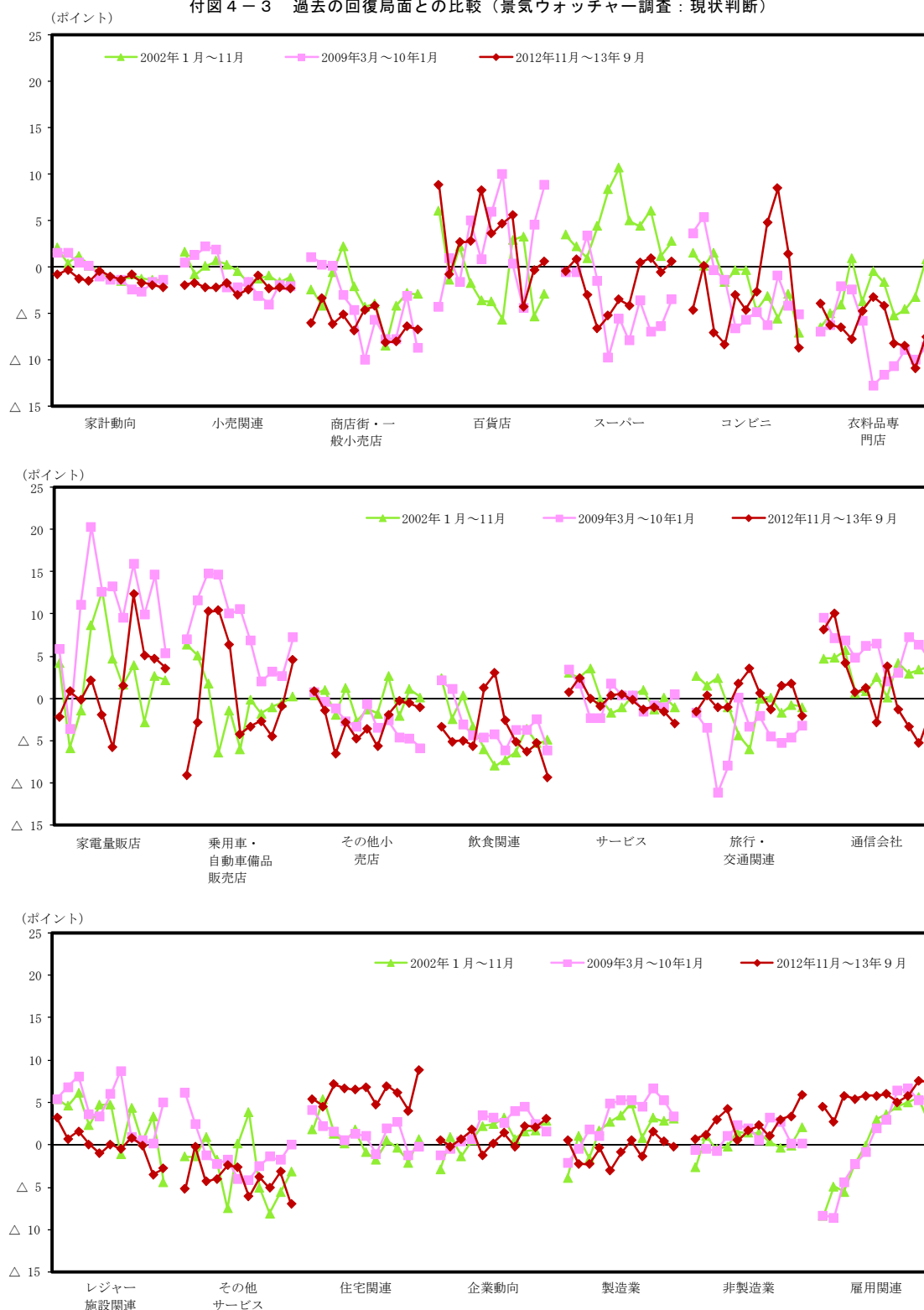
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。全国のDIと各地域のDIとの差分。沖縄は右目盛り。
2. 地域区分はA。

付図4-2図 過去の持ち直し局面との比較（景気ウォッチャー調査：現状水準）



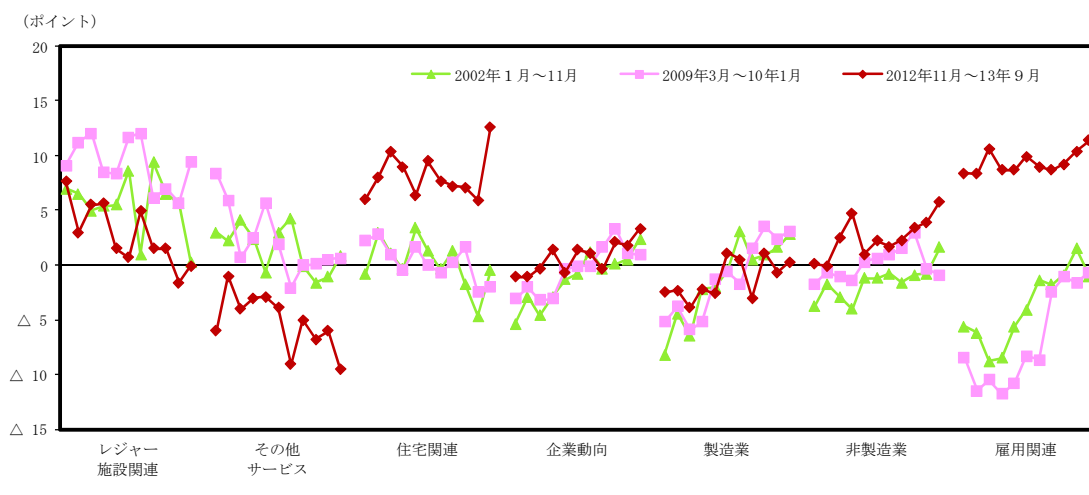
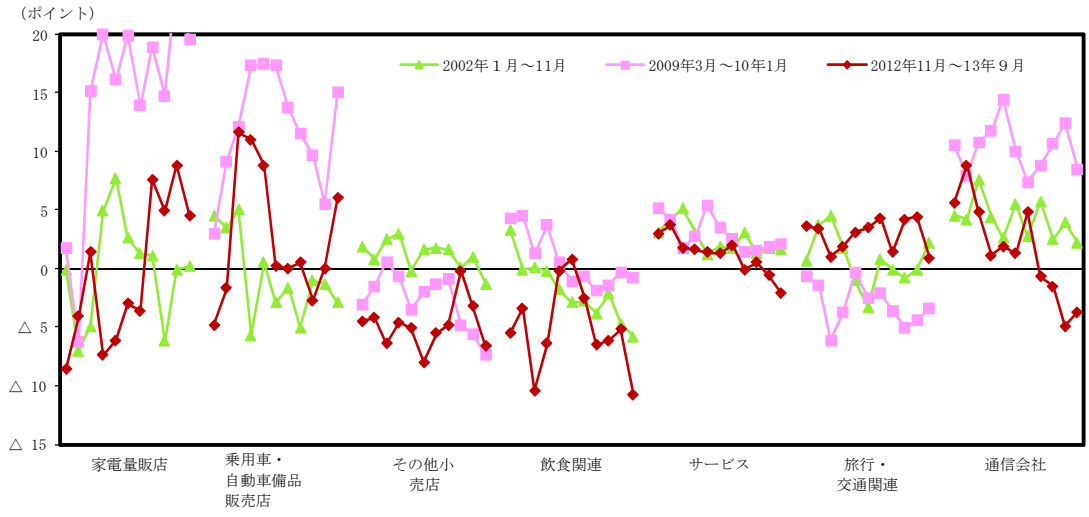
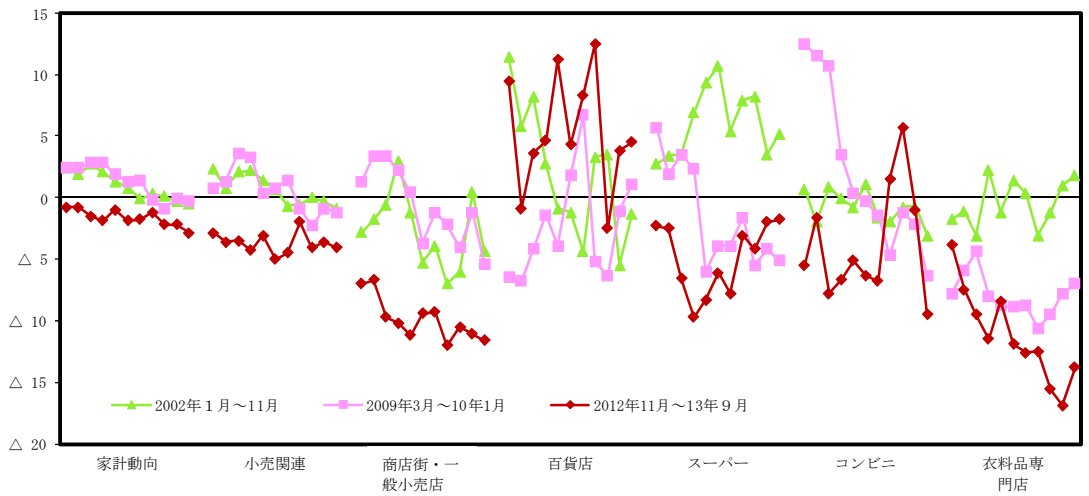
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。全国のD Iと各地域のD Iとの差分。沖縄は右目盛り。
2. 地域区分はA。

付図 4-3 過去の回復局面との比較（景気ウォッチャー調査：現状判断）



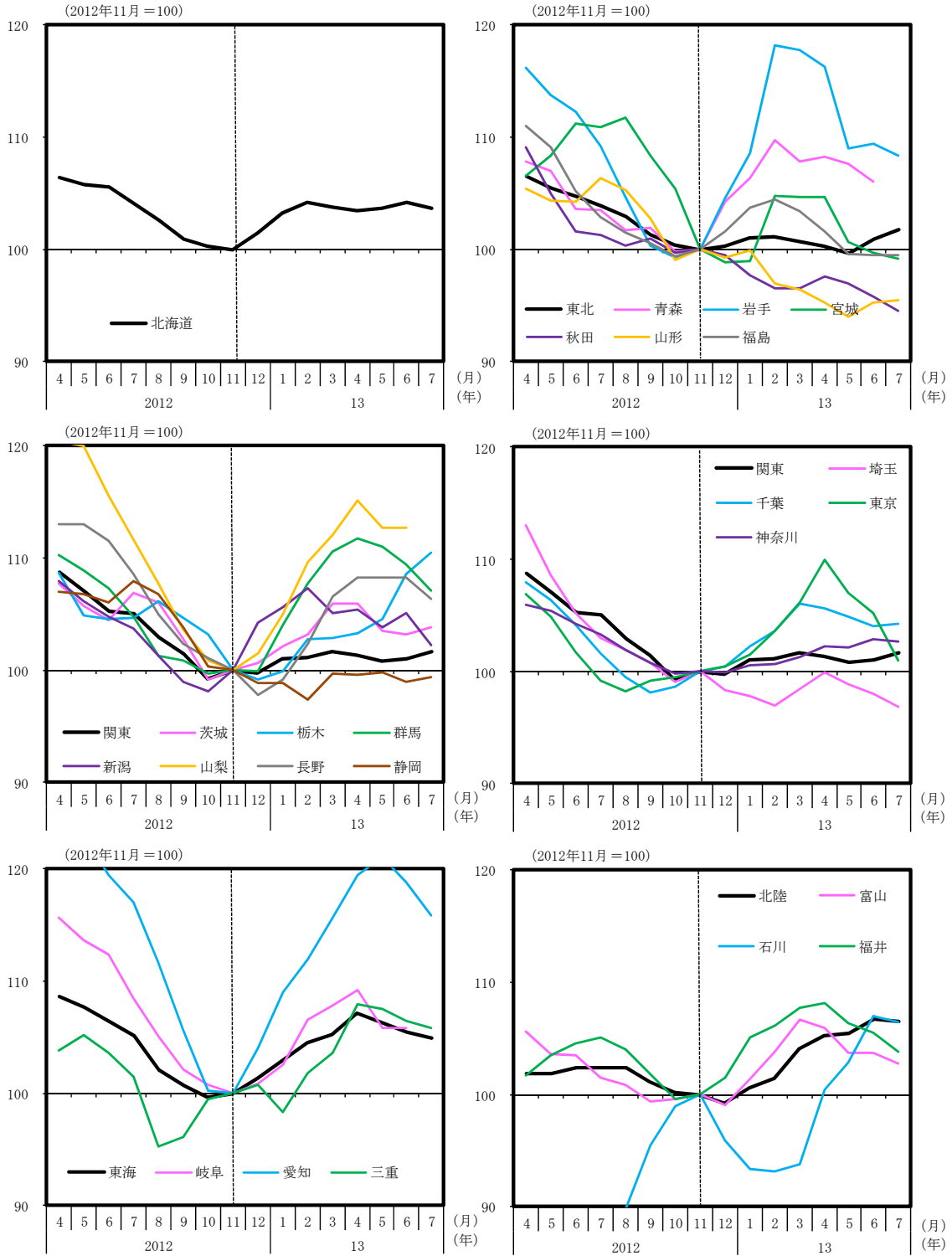
(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。合計DIと各業種のDIとの差分。
 2. 地域区分はA。

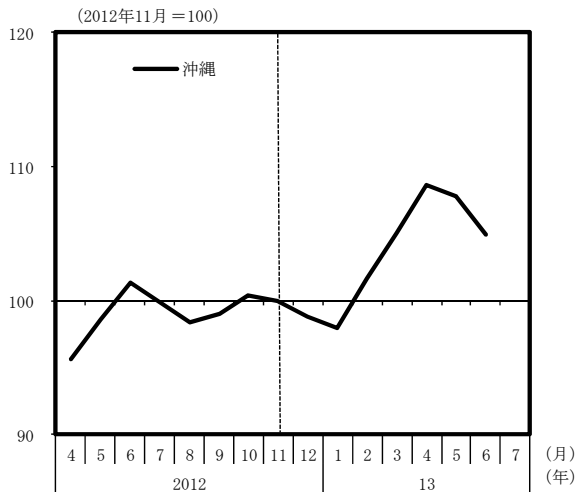
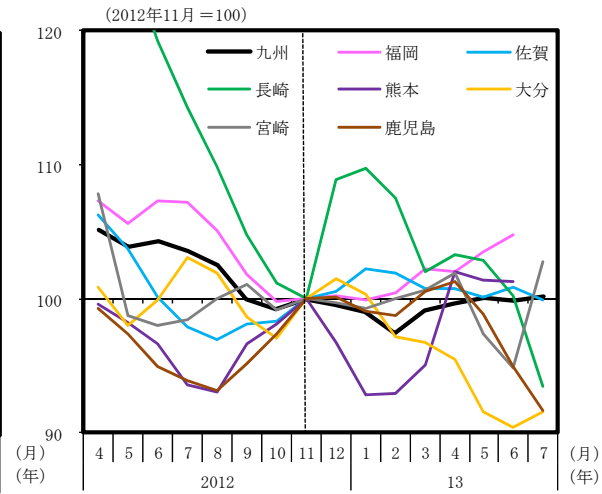
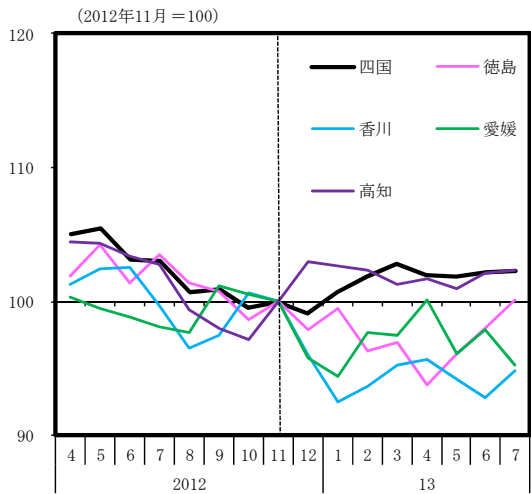
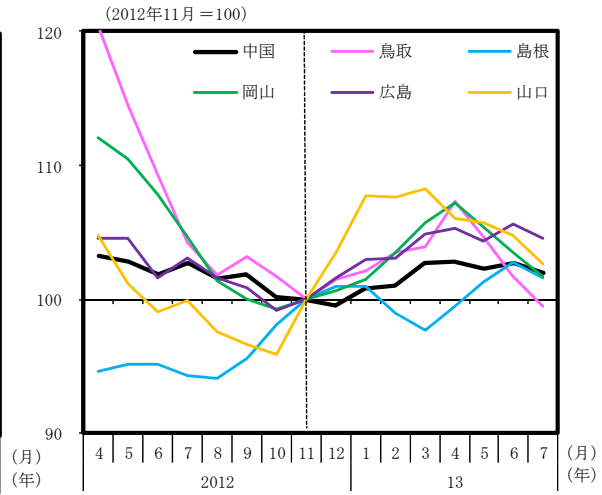
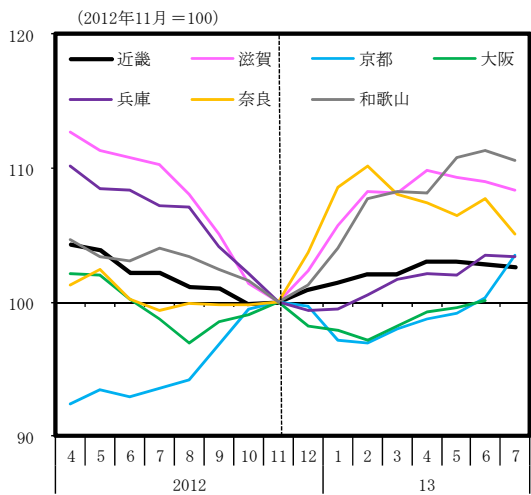
付図 4-4 過去の回復局面との比較（景気ウォッチャー調査：現状水準判断）



(備考) 1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。合計DIと各業種のDIとの差分。
2. 地域区分はA。

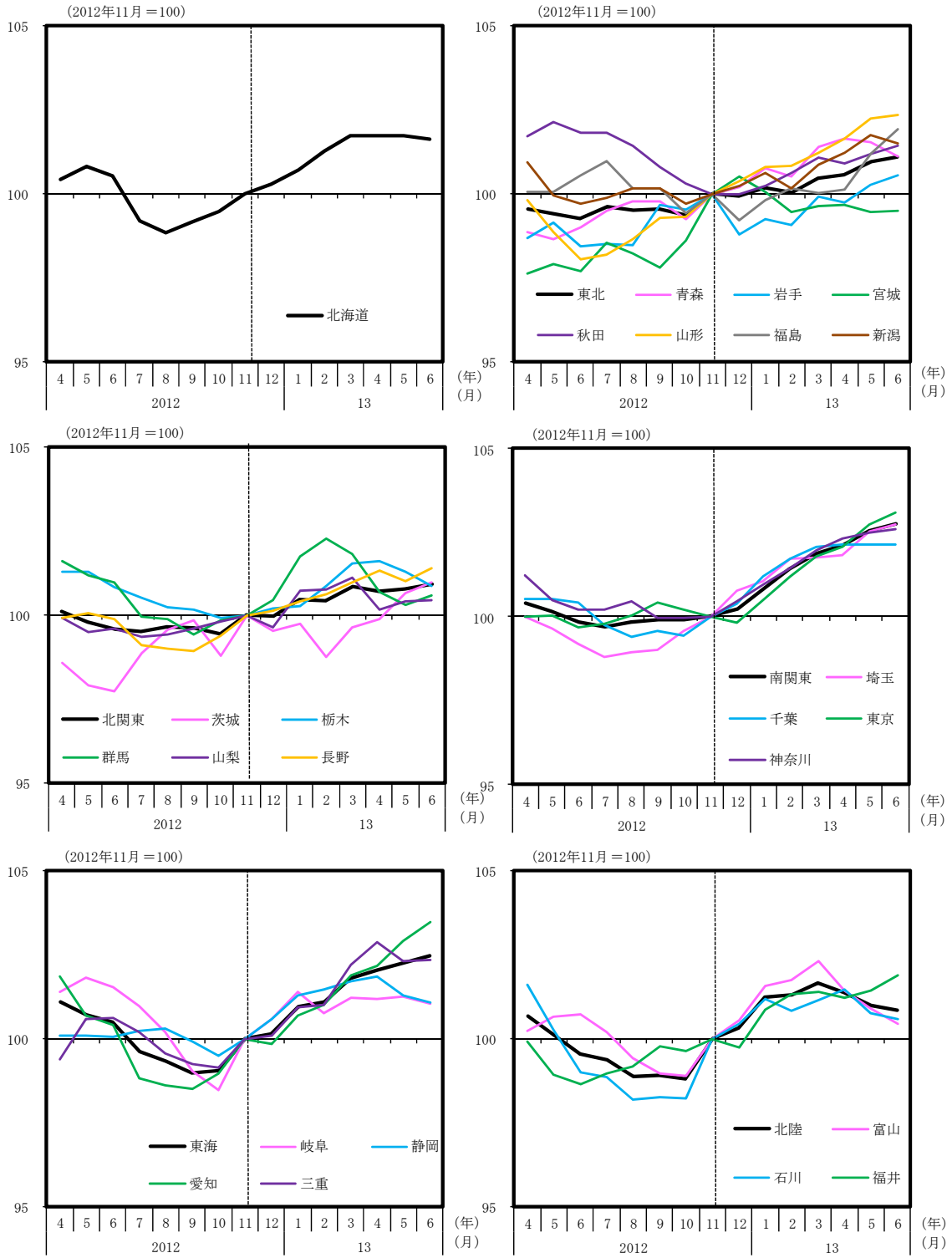
付図5 各地域と各県の鉱工業生産指数（3か月中央移動平均）

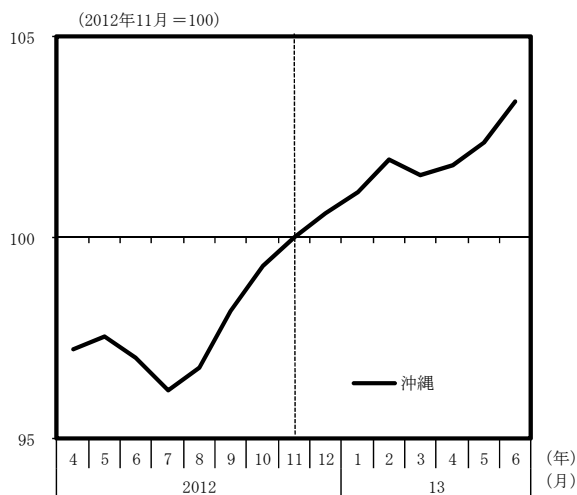
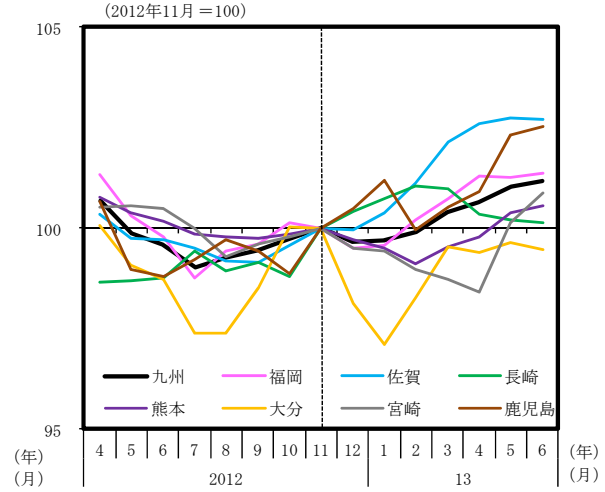
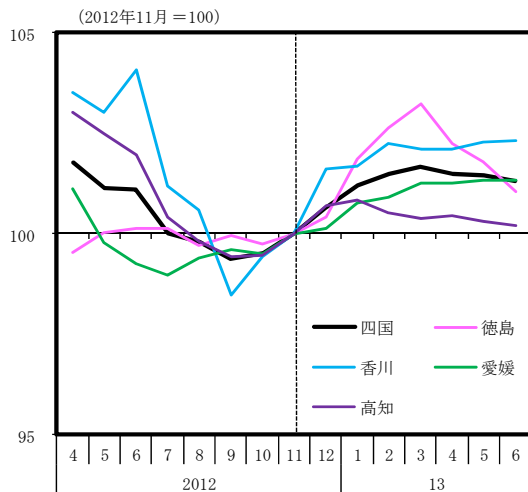
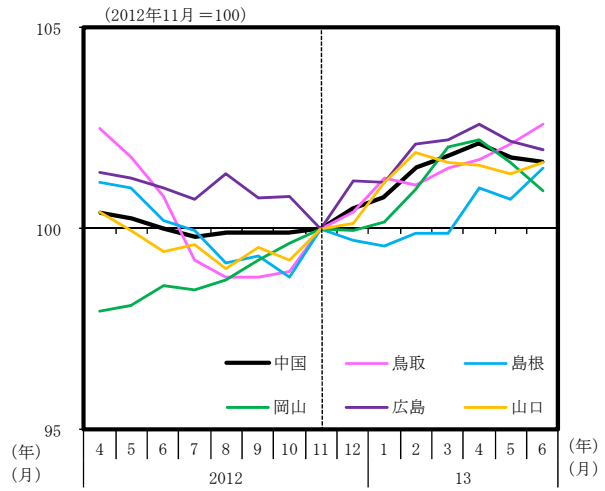
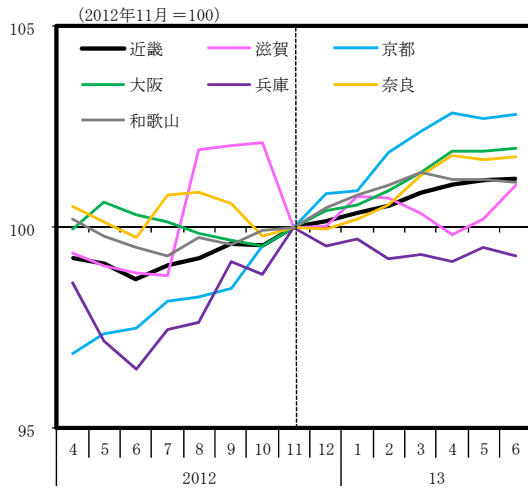




- (備考) 1. 各経済産業局、各都道府県「鉱工業生産指数」より作成。季節調整値。
 2. 地域区分はB。ただし、東海は岐阜、愛知、三重の3県、北陸は富山、石川、富山の3県。
 3. 青森、山梨、岐阜、大阪、福岡、熊本、沖縄の7月(3か月移動平均)については8月の数値が未公表のため記載していない。

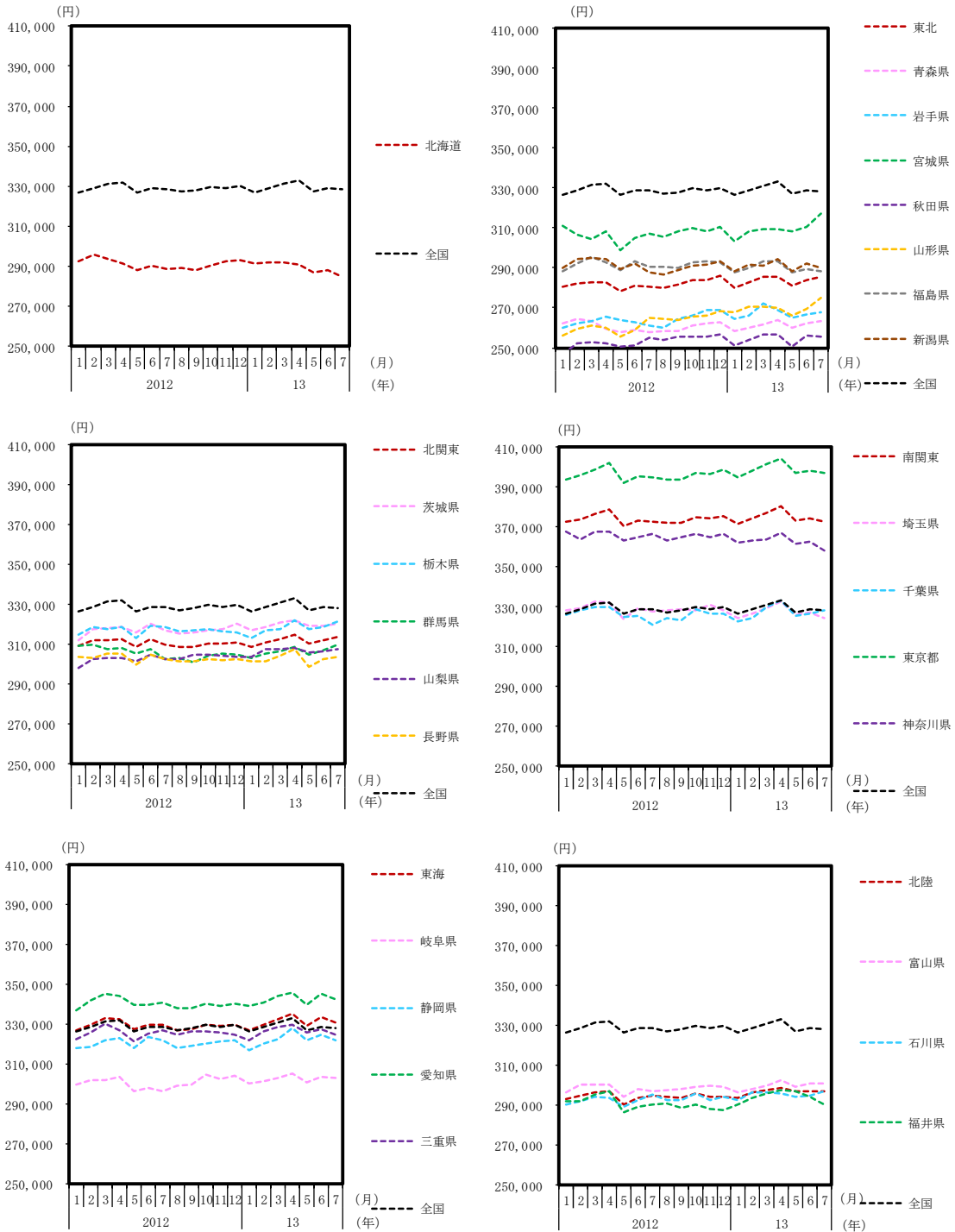
付図6 各地域と各県の消費総合指数（3か月中央移動平均）

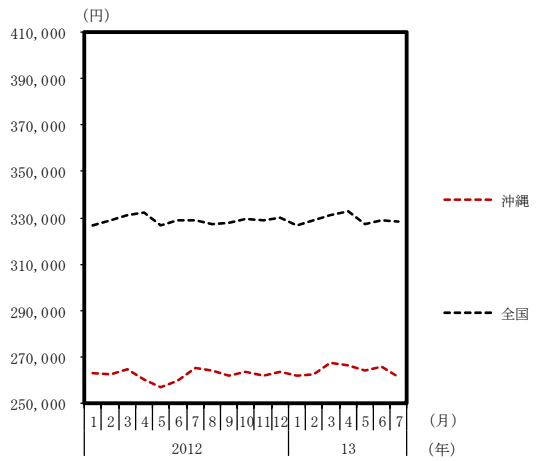
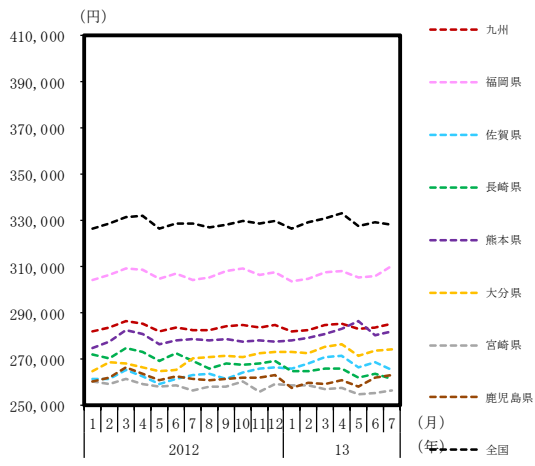
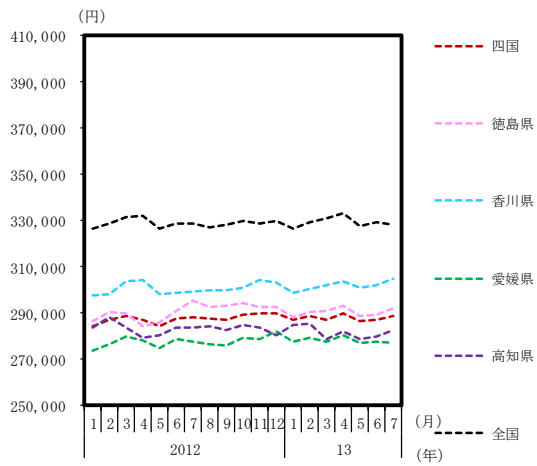
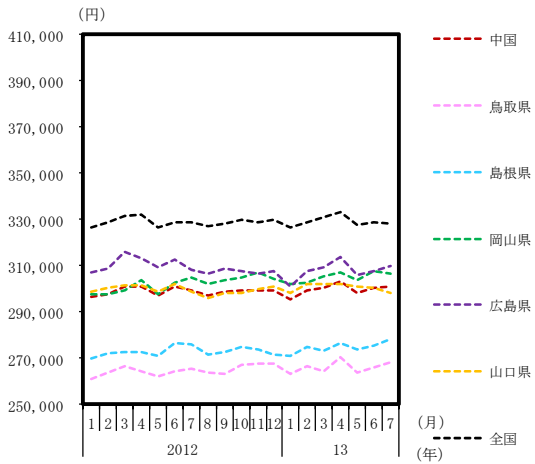
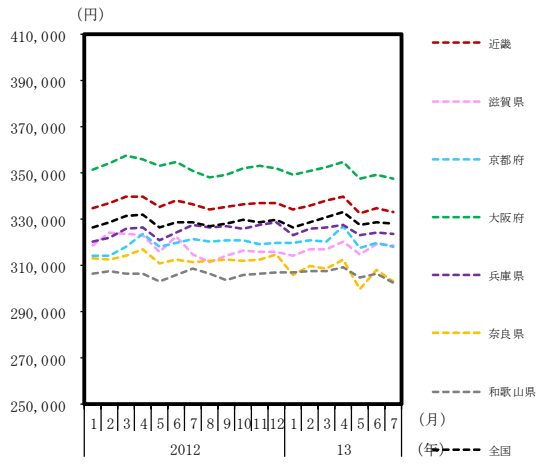




(備考) 1. 内閣府「地域別支出総合指数 (RDEI)」より作成。季節調整値。
2. 6月は2か月平均。
3. 地域区分はA。

付図7 各地域と各県における決まって支給する給与の推移





(備考) 1. 厚生労働省「毎月勤労統計調査全国調査」、各都道府県「毎月勤労統計調査」より作成。事業所規模5人以上、一般労働者。
 2. 各地域は、都道府県別の数値を常用労働者数でウェイト付して算出。